



学生生活 Campus SEIJO

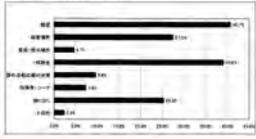
学生実態調査結果報告特集号

No228

学生実態調査報告 2009（平成21）年度

成城大学

※資料調査での主要な結果項目（複数回答可）

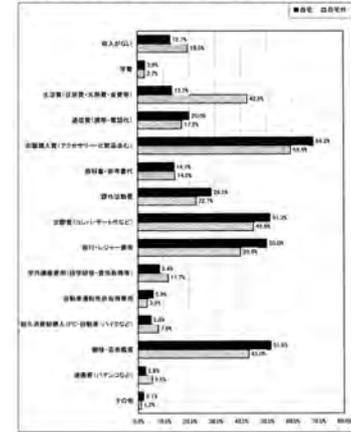


【本文】

本誌は、2009年度（平成21年度）の調査結果を掲載する。掲載期間については、1学期調査が基本であるが、2学期調査の結果も掲載する。なお、1学期調査の結果は、2学期調査の結果と合わせて掲載する。そのため、1学期調査の結果が「1学期調査」として掲載され、2学期調査の結果が「2学期調査」として掲載される。

目次	
各章の分析要約	
I	基本項目 3
II	入試・受験 3
III	授業・学習 11
IV	課外活動（学生会・部活・サークル） 16
V	住居・経済状況 25
VI	アルバイト 32
VII	奨学金 39
VIII	不安・悩み 42
IX	生活・健康 47
X	ハラスメント 52
XI	通学・通勤 57
XII	施設 62
XIII	パソコンの使用 67
XIV	図書館 70
XV	大学生活と他校 77
XVI	成城大学全般 83
■	自由記述より 89
■	編集後記 92
アンケート集計結果	
■	集計結果について 93
■	設問一覧 94
■	設問ごとの集計結果 97

＜設問 36＞（住居の形態）と設問 31（アルバイト収入の主な使途）とのクロス集計



CONTENTS

「学生実態調査」にみる成城大学の学生像 2～5
キャリア支援／2010年度「就職サポートプログラム」 6～9
文化部連合 六月祭 10～11
黎明（めーあ・りひと） 12
「多読を利用した英語学習のすすめ」
第61回四大学運動競技大会 正式種目得点／一般種目出場者 速報 13
第61回四大学運動競技大会一般種目屋外競技 学内予選 開催される！ 14
四大戦一般種目屋外競技本戦出場チーム紹介 15
くらぶ通信～スポットライト～ 16
ライフセービング部／茶道部

Campus Seijo News 17
平成22年度 成城大学特待生について／川上宏奨学基金について
Campus Seijo Information 18～24
第41回チャリティーショー「クローバーの集い」開催のお知らせ 18
新型インフルエンザの感染防止について 18
夏季休暇期間中の合宿について 19
2010年度「成城 学びの森」開催のお知らせ 20～21
夏季休暇期間中の事務取り扱い日時 22～23
保証人への成績表送付について／父母懇談会開催のお知らせ／追試験日程について 23
主な各部署の電話番号／オープンキャンパス2010／編集後記 24

「学生実態調査」にみる成城大学の学生像

学生部長 村瀬 鋼

2009年度、本学では9年ぶりとなる大規模な学生実態調査をおこないました。調査の実際としては、77項目からなる調査票を全学学生に郵送し、2割強の学生から回答を得ましたが、学部ごとの目立ったばらつきもなく、まずは本学の学生の実態についての信頼するに足る統計が得られたと言えるでしょう。

その調査報告書がこのたびまとまりました。手間をいとわず調査に協力してくれた学生諸君には、この場を借りて、あらためて深く感謝します。

報告書は学内各所に持ち帰り自由に置いてありますので、どうぞ手にとって読んでみてください。諸君自身にとっても興味深い内容がきっとあるはずです。この調査の目的は、本学学生の実態を掘り取って本学の教育・学習環境の改善の手がかりにすることにありますが、これは第一にはもちろん教職員の任務なのではあっても、学生諸君の手にもまた多少とも委ねられていることなのですから、そんな目線をも持って、ぜひあれこれ目を通してもらいたいと思います。

調査をおこなった側の立場から言うなら、調査の結果は、おおまかなところでは、私たち教職員が成城の学生について抱いているイメージにほぼ合致するものでした。調査結果からおのずと浮かび上がる平均的な成城の学生像は、おおむね次のようなものです。野心は必ずしも高くはないが、真面目で、授業によく出席し、アルバイトや課外活動にも多くの時間を割き、多忙で、お金と暇がないのが悩みであるが、学生生活を楽しんでいて、いろいろ不満はあるものの、基本的には成城大学に来てよかったと思っている、と。

全体的な満足度が高いものであったのは大学にとって喜ばしいことです。それは、まさに成城大学の「実態」をよく知る実際の学生諸君からの本学に対する総合評価を端的に示しているからです。成城大学を第一志望として入学した学生は実はさほど多くはなく、それと同数以上の学生は第四志望以下で入学しているのですが、第四志望以下での入学者ですら、実際に本学で過ごしてみて、多くの諸君が「成城に来てよかった」と感じてくれています。

ですが、総合的な満足は個々のことへの満足を意味しません。調査結果からは学生諸君のさまざまな不満も見えてきます。また、大学としては多数の満足をもって良しとするわけにはいかず、少数の不満足な諸君のことを同様に大事に考えなければなりません。そもそも、平均値や多数決には収まらない個性を持っているのが本学の学生です。まさに個性の尊重を建学の精神とする本学は、そんな学生の一人一人をできるかぎり大切に作る使命をもっています。

この調査を通じて垣間見える学生一人一人の不満や悩みに、私たち教職員は真摯に応じていきたいと考えています。加えて私たちは、教職員として、学生諸君のものでありながら諸君自身には意識されていないかもしれないさまざまな問題をも見て取り、諸君を支援していかなければなりません。今回の調査結果にはそのためのいろいろなヒントも隠れているようです。

調査結果には、細かいところで、成城生のイメージに合わないものもありました。その目立った一つとして、これはとても残念なことなのですが、試験での不正行為に対する意識の低さがありました。教職員としては驚かざるをえないこととして、無視できない数の学生が、不正行為は場合によっては許されると回答しています（そもそも、「場合によって」であれ、「不正」なことが許されるというようなことがあってよいのでしょうか?）。そんな空気が多少でもあることは、教職員の側に責任が求められることでもありますが、学生諸君自身が、社会に巣立つべき一大学生として反省して見なければならぬことでもあるはずです。

調査報告を読んだ学生諸君が、これを機会に、これからの大学生活との自主的な関わりに向けて、成城の学生であることの自負と自覚とを自戒をもこめて改めて持ちなおしてくれることを、諸君のために願っています。

以下は、報告書の各章【まとめ】からの抜粋です。

具体的データ、分析結果については、『学生実態調査報告2009（平成21）年度』で確認することができます。

I 基本項目

今回の調査では、5,714名の学生に対しアンケート調査票を送付し、21.1%の学生から回答を頂いた。

回答者の内訳としては、各学部とも、それぞれ2割前後の学生が回答しており、学年の偏りも少ない。従って、各学部、各学年の学生意見をほぼ等しく含んだデータであると言える。

II 入試・受験

出身高校別では、私立高校出身者の割合がやや高い。入試選抜方式では、学力選抜と推薦入試の比率は概ね7対3であった。また、現役と浪人の比率については8対2である。

第1志望で入学した学生は全体の3割程である。

大学で学びたいことは、全体としては、広く教養を身につけることが、専門知識の習得を上回っている。

なお、大学教育に対し何も期待を持たず入学してきた学生が全体の1割強存在していることも分かった。

III 授業・学習

履修科目選定には、シラバス・履修の手引きを基本として、友人・先輩からの助言をもとに選択をしていることが分かった。

履修科目数については、11～15科目と回答した学生が最も多く、また1週間の内、5日以上登校すると回答した学生比率は5割を上回る。週4日以上登校では7割以上が該当する。授業の出席率も極めて高い。

大学へ登校し、授業に出席するという点だけに限定すれば、非常に真面目な学習態度と評価ができる。

その一方、講義時間外・試験期間外での1日の学習時間は、半分近い学生が「ほとんどしない」と回答し、勉強をする学生であっても半分以上が「1時間未満」と回答している。1日2時間以上勉強する学生は6.6%に留まった。

授業の平均的レベルについては「ちょうど良い」と回答した学生が57.2%であった。この結果については、少々評価が難しい。大学の理想的な姿からすれば、「やや難しい」位が適切ではないかと思われるからである。講義時間以外の勉強時間を考えると、予習・復習による学習効果は多く期待出来ないため、学生が学習をしてこないことをある程度前提とした授業をせざるを得なくなってしまう。結果として、大学の講義として適切な内容というより、学生にとって「ちょうど良い」と感じられる講義が必然的に高い評価を受けることになる。

学生に「ちょうど良い」か、大学の教育レベルとして適切であるのか、その辺りのバランスについては、教育の質を保証する意味でも成城大学全体として再検討が必要かもしれない。

IV 課外活動（学友会・部活・サークル）

課外活動に関して、約8割の学生が重要、もしくは必要であると考えており、実際に何らかの課外活動に加入した経験を持つ。

学生が課外活動に加入する理由は、学生生活を楽しむこと、友人を得ることで、さらに、自己研鑽の場としても期待していることがうかがえた。

一方、加入しない理由を纏めると、“時間的余裕がない”、“興味・関心の持てる団体・クラブが存在しない”、“束縛されたくない”、“経済的負担が予想される”等である。

退部者の退部理由については、時間的な余裕の無さ、興味を失うこと、経済的負担等が挙げられる。

1週間における活動時間について、3時間未満の学生が約4割と最も多く、約8割の学生は、週に9時間未満の活動であった。

年間にかかる課外活動費は、5万円未満が56.7%であった。逆に43.3%の加入者は5万円以上である。10万円以上については、加入者全体の20.5%に該当した。時間の余裕の無さだけでなく、経済的にも学生生活を圧迫することが、中途退部の要因のひとつであることは残念なことである。

V 住居・経済状況

自宅生、自宅外生の比率は、8対2であった。

自宅外生の月額家賃については、「6～8万円未満」が38.2%と最も高い。

通学時間に関しては、自宅外生の96.1%が60分未満に対し、自宅生の66.5%が60分以上と回答している。近年の厳しい経済状況の中、通学できる限り自宅通学させるという傾向がうかがえた。

学費の支払いについては、93.1%の学生が全額家庭と回答した。

家庭から貰う生活費については、貰っていないと回答した学生は44.9%であった。貰っている金額としては、「2万円未満」が最も多く25.9%であった。

おこづかいについては、同じく貰っていないと回答した学生が48.7%であった。貰っている金額としては、「2万円未満」が28.8%と最も高かった。

Ⅵ アルバイト

学生の約8割がアルバイトをしている。目的としては娯楽・レジャー費の確保、社会経験を積むことに加え、日々の生活費の確保が挙げられる。

具体的なアルバイト収入としては、「4～6万円未満」が最も多かった。

アルバイトの週平均時間については、「10～20時間未満」が34.3%で一番多い。

このアルバイト時間を見れば、確かにゆとりは少ないことが理解できる。

アルバイト収入の主な使途は、全体としては衣服購入、交際費、趣味・芸術鑑賞、旅行・レジャー等の出費が多い。

Ⅶ 奨学金

奨学金を希望している学生は約4割であった。その中で、実際に受給できていた学生はその半分弱である。奨学金については、自宅外生の必要性が高く、また実際の受給率も高い。

実際の受給額は、「40～80万円未満」が最も多かった。奨学金の希望金額についても、「40～80万円未満」が最も多い。厳しい経済状況の中、少しでも親の負担を減らしたいという学生側の心遣いと受け取れる。

Ⅷ 不安・悩み

学生が抱える不安・悩みの中で一番多いのは「進路・就職」についてで、71.0%の学生が不安を感じている。次いで、「学業」については33.8%、「性格・能力」については26.0%の学生が不安を感じていた。これらの共通キーワードは、「将来に対する不安」である。

悩みを相談する相手としては、友人、家族と回答した学生が多かった。家族と親密な関係を築いており、悩みを相談できる状況にあることが分かる。

友人数については、何でも話せる友人が1人以上存在する学生が91.3%であった。学生間の親密な交流がうかがえる結果で、ある意味で少人数教育を掲げる“成城らしい”結果と言える。

Ⅸ 生活・健康

最近の体調については、8割強の学生が「普通」以上という結果である。

朝食についても「必ずとっている」学生は約半分である。「だいたいとっている」学生を合計すると8割を超える。

飲酒については、“時々”以上の頻度で飲酒をしていた学生が、54.8%と半分以上おり、未成年が大半の1年生についても、「頻繁に飲酒をする」「時々飲酒する」と回答した学生は1年生全体の1/3近くも存在した。

学生の喫煙率は12.5%となっている。飲酒に比べて喫煙は控えめという傾向である。

睡眠に関しては、「よく眠れる」が44.9%で、「まあまあ眠れる」が42.8%であった。

睡眠時間に関しては、「5～7時間未満」と回答した学生が60.0%で、「3時間未満」という極端に睡眠時間が短い学生は殆ど存在しなかった。

X ハラスメント

大半の学生がハラスメントとは無縁である。ハラスメント行為の中では、アルコール・ハラスメントの被害が最も多い。場所は、「コンパ」、「クラブの合宿等」で、「先輩」からという回答が比較的多い。

ハラスメントの相談相手としては、「友人」、「親」の順となる。

XI 進路・就職

キャリア支援部を利用する学生は、全体の半分である。その中で、「就職ガイダンス」18.3%、「就職支援講座」13.3%、「資料室」12.6%、「個別相談」10.8%などの回答率が高い。初めて利用する時期も3年次が最も多く、就職の相談窓口といった印象で捉えられていることが推察される。

卒業後の進路について真剣に考え始めた時期については、入学前と3年次である。入学前から3年次前期までを合計すると56.4%であり、半数の学生が就職活動を開始する前に進路について真剣に考えていることになる。

卒業後の進路については、約8割が就職希望である。業種については、「まだ考えていない」と回答した学生が36.0%であった。キャリア教育の必要性が強く感じられる結果となっている。

XII 施設

昼食時に利用する施設については、「学生食堂」を利用する学生が最も多く、次いで「学生ラウンジ（7号館）」、「学生ホール（3号館）」があげられた。

また、空き時間に利用する施設については、「図書館」と回答した学生が最も多く、「学生ホール（3号館）」が続く。「学生ホール（3号館）」については、昼食時の利用率も比較的高く、昼食時を含め学生の利用率が高い施設と言える。

充実を希望する施設については、「学生食堂」、「図書館」、「売店」となる。

食堂施設については、利用者の数に対しスペース不足などの問題が生じているものと思われる。昼食時間は皆同じで

あるため、多くの学生が一斉に食堂に来ることが予想される。そのため、満席で利用できない学生がどうしても発生してしまう。

喫煙場所については、現状維持派と削減・撤廃派との比率は半々に近い。喫煙場所についても、「適当である・問題ない」と回答した学生が4割近く存在した。

成城大学の喫煙者は全体の1割程度と少数派であるが、非喫煙者からの寛容さは、喫煙者が喫煙ルールを遵守することを前提とすることも忘れてはならない。

XIII パソコンの使用

学生の95.1%は1日1回以上パソコンを使用する。利用時間については、1時間程度が最も多く、30分～2時間程度の範囲に76.3%の学生が含まれる。

パソコン用途については、「情報収集」、「趣味・娯楽」が多い。パソコン利用目的の多くがインターネット検索による情報収集、及び趣味的なサイトの閲覧という事になるであろう。

学生の9割は自分のパソコンを所有しており、大学のパソコン利用環境については、「普通」と回答した学生が最も多く39.8%である。「満足」は27.1%、「非常に満足」が5.2%であった。

XIV 図書館

図書館の利用日数については、週に「2日～1日」という回答が65.0%であった。また、9割近い学生が、週に1日以上頻度で図書館を利用している。図書館の利用率は高い。

利用時間については、約8割の学生が1～2時間の利用で、利用者の95.6%が概ね2時間以内の利用ということになる。

利用目的は、「勉強するため」という回答が74.1%で一番高い。「資料を借りるため」という回答は53.7%である。

図書館で利用する場所については、「閲覧席」という回答が73.1%あり、それ以外では、「AVゾーン」が24.4%であった。貸出冊数については、利用者の92.2%が「十分である」と回答している。

貸出期間についても73.2%が「十分である」と回答している。

閉館時刻については、開講期間中は70.4%が、また、休講期間中は53.2%が「十分である」と回答した。しかし、休講期間中については46.8%が「早すぎる」と回答している。

図書館の所蔵資料に対する満足度については、「普通」以上の回答が76.5%である。図書館に対する満足度は、調査対象全施設中で最も高いものであった。

XV 大学生生活と倫理

大学生生活の中で大切だと思うことについての質問では、「学業・勉強」が62.7%、「人間関係（人脈づくり）」が61.8%で回答率が高かった。「学業・勉強」と「人間関係（人脈づくり）」が、ほぼ同じ比率で重要視されている。

また、「人間性を高める」も36.3%の回答を集めた。学生が学業と並んで人間力向上を重視している様子がうかがえる。

学生のモラル・倫理観について低下していると感じることとしては、「授業中の私語・遅刻・早退」を選択した学生が56.7%、「大声で騒ぐ」、「歩きたばこ」、「目上の人への敬意」、「電車内での化粧」、「空き缶やゴミ・吸殻のポイ捨て」などについて、それぞれ3割前後の回答が寄せられた。「授業中の携帯の使用（主にメール）」については21.6%となっている。

試験に対する不正行為については、9割近い学生は適切な認識をもっていたが、残りの1割の学生が不適切な認識であった。

不正行為に関する噂話についても、4割近い学生が“たまに”以上の頻度で見聞きをしていた。

不法薬物・大麻については、96.5%の学生が「絶対にしてはならない」と回答し、84.1%の学生が「まったく見聞きしない」と回答した。

ボランティア活動については、参加経験のある学生は4割程度である。参加する主な目的は、「社会勉強のため」という回答が目立って多かった。

XVI 成城大学全般

教育については、成城大学の特徴である「教員」「少人数教育」に対する評価が高かった。特に「少人数教育」については、最も平均点が高い。

「カリキュラムの構成」、「授業の内容」は、概ね普通という評価であった。

施設については、特に「図書館」への評価が最も高かった。「図書館」は利用率も高く、且つ満足度も高い施設であるという評価をうけている。

一方、制度・サービスについては、相対的に評価の低いものであった。特に「事務窓口の対応」については、最も評価が低く、厳しいものであった。

成城大学に入学して良かったか否かの質問には、プラスの評価をした学生は全体では7割以上であった。全体では概ね高評価である。むしろ第4志望以下の学生ですら、「よかった」以上の評価が6割近くを占め、8人に1人は「とてもよかった」と感じている。

全体としては、「期待以上だった」が21.2%、「期待通りだった」が45.8%で、7割弱の学生の期待に応えたことになる。

卒業年次生へのメッセージ

卒業年次生にとっては、学生生活も残すところ数ヶ月となり、一面では将来に対する期待感、反面では学生生活への終止符と、嬉しくもあり寂寥感もあることと思います。

皆さん、卒業後の進路についてはお決まりでしょうか。

時代の変化とともに、学生の皆さんも、「卒業＝就職」だけではなく、進路については様々な考え方を持つようになり、選択肢も豊富になってきました。ただ、どのような進路を選択するにせよ、自分の目的を明確にした上で、自分の進路を決断することは非常に重要です。

キャリア支援部としては、今の時点で自分の将来に関して、具体的な将来像を描いておくことは非常に大切なことだと思っています。最も避けるべきことは、自分の将来像を持たずに卒業を迎えることではないでしょうか。

将来の自分を考え、進路について悩んでいる方、その答えを得られないでいる方は、是非ともキャリア支援部を訪ねてみてください。何らかの手がかりが得られる筈です。

キャリア支援部スタッフは、皆さんの来課をお待ちしています。

夏休みにやっておきたいこと

大学生は、約2ヶ月と非常に長い夏休みがあります。この休みを有効利用しない手はありません。長期旅行に行くのもいいですし、ボランティアに積極的に取り組んだり、部活動に専念するのもいいでしょう。また、2、3年生であれば、企業が実施する「インターンシップ」を積極的に利用して、社会に触れてみることも貴重な経験になると考えます。就職活動を間近に控える3年生の皆さんは、時間にゆとりのあるこの時期に、就職試験対策(SPI2・一般常識)や自己分析などにじっくりと取り組み、早めの対策を心掛けておくことも有効です。

しかし、このようなこと以外にも、自己研鑽することは可能です。例えば、普段なかなか新聞を読む機会がない場合は、夏休みを利用して、毎日必ず新聞を読むという習慣をつけるのもいいでしょう。また、日頃時間がない方は、読書に勤しむのもいいかもしれません。日頃読めない長編小説やビジネス書などを読むには絶好の機会です。

いずれにしても、日頃できないことに取り組むことで夏休みを有効活用することが重要です。

現3年生への支援

夏休みが終わると、3年生の就職活動は本格的にスタートとなります。マスコミ業界では、9月に採用試験をスタートする企業もあります。また、情報会社が運営している就職サイト(リクナビなど)もオープンし、周囲の状況は、一気に慌しくなると思います。3年生の皆さんは「就職活動をスタートしなければと思うけれど何からやればいいのか」と不安になる時期だと思っています。

そんな不安に応える意味で、キャリア支援部では、9月28日(火)に「第3回就職ガイダンス」

を開催する予定です。このガイダンスでは、「自己分析について」就職活動に必要な具体的な取り組み方をアドバイスしていきます。

これから本格的に就職活動をスタートさせていく学生の皆さん、すでに活動を始めているがあらためて今後の予定や取り組みを確認したい皆さん、ぜひガイダンスに出席してください。

また、このガイダンス以降は、3年生を対象とした就職関連のセミナーや講座が目白押しですから、積極的に参加して、力をつけていきましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

就職活動は、自分なりに段取りを考え、少しずつ焦らずに着実に作業を進めていくことが重要です。目標を持ち、しっかり計画を立てて活動していきましょう！困ったときはキャリア支援部に相談に来てください。

キャリアサポートプログラム「My Advanced Project=MAP」について

近年「コミュニケーション力不足」「自己表現力不足」の学生が増えていると言われています。このことは非常に憂慮すべき事態であると考えています。なぜなら「コミュニケーション力」「自己表現力」は社会生活を送る上で、最低限備えておくべき能力だからです。キャリア支援部ではこのような能力を高めるべく、2006年度より低学年を対象とした、成城大学独自の人間形成とキャリア形成のためのサポートプログラム「MAP(My Advanced Project)」を実施しています。



「気づき」をテーマに、学生同士がグループワークやデ



ィスカッションを通して、多様な価値観があることを認識し、自分を知り、他者を知り、そして社会についても知ることを目的としています。今年度も1年生を対象とした「MAP1」には、全学部全学科から48名が参加しています。チームを編成し、各人の役割分担を明確にした上で、「問題提起→検証→総括」という流れのワークショップ形式で実施しています。また、既に「MAP1」を経験した上級生にディレクター、サポーターという役割で、プログラム運営の中核に参画してもらうことで、学年の枠をも超え、すべての学生が研鑽を積み、コミュニケーション力だけでなく、能動的思考力や主体的行動力を見につけられるよう、プログラムが構成されています。

なお、今年度は昨年度に引き続き2年生対象の「MAP2」も開催しています。「MAP2」前期では「学生生活をよりアクティブにすること」を目的とし、様々なワークを行っています。社会人へのインタビューや毎回の宿題など、プログラム自体もよりアクティブに構成されています。「MAP2」については後期も開講予定ですので、2年生は積極的に参加してください。



キャリア支援部では、今後もそれぞれの学年に応じたキャリア支援を行っていきます。皆さんも積極的にプログラムに参加してください。

2010年度「就職サポートプログラム」

	5月	6月
導入期 (夏)	第1回就職ガイダンス <就活スタートガイダンス> インターンシップガイダンス	第2回就職ガイダンス <夏休みの効果的な過ごし方> インターンシップ申込み 企業パネルディスカッション
		グループワーク講座(少人数) 第1回SPI(筆記)試験対策ガイダンス SPI(筆記)模擬試験
	10月	11月
発展期 (秋～冬)	第3回就職ガイダンス <自己分析対策> 第4回就職ガイダンス <業界研究対策>	第5回就職ガイダンス <エントリーシート対策> OBOG懇談会 OBOG訪問 自己分析講座 グループワーク講座(少人数)
		第6回就職ガイダンス <マネージャー面接対策> 第3回SPI(筆記)試験対策ガイダンス SPI(筆記)模擬試験実施(SPI2・一般常識) SPI(筆記)模擬試験解説会 業界企業研究
	1月	2月
実践期 (冬～春)	<学年末定期試験>	<入学試験> 第8回就職ガイダンス <セミナー直前ガイダンス> 学内合同企業セミナー エントリーシート対策講座 会社説明会・セミナー・採用試験スタート

Q 今年の4年生の就職活動状況はどうでしょうか？

A リクルートワークス研究所の発表によると、来春2011年3月卒業予定の大学生・大学院生対象の大卒求人倍率は、1.28倍となり、昨年の1.62倍から0.34ポイントマイナスとなっています。また、全国の民間企業の求人総数(計画)は、前年の72.5万人から58.2万人への19.8%のマイナスとなっています。

このような厳しい状況ではあるものの、今年の求人倍率は、1996年3月卒(1.08倍)や、2000年3月卒(0.99倍)の就職難とされている時期ほどには、落ち込まない見通しとなっています。

本学学生においては、就職活動の事前の準備をしっかりとやっていた学生は、比較的希望業種・企業からの内定を獲得しているものの、例年に比べて最終選考で苦戦している様子がありました。全体的に見ると、自己分析が不十分なまま就職活動を進めてしまう、キーポイントとなる自己PRや面接といった「自分の考えをしっかりと伝えること」に苦戦し、結果的になかなか内定を獲得することができないようです。さらに、大企業志向が強い学生にも、内定が獲得できない人が多いようです。単にその企業が有名かどうか、また、大企業なのか中小企業なのかだけで企業を選んで就職活動している場合は、結果的に決まりにくいということが考えられます。

一般的に有名であるかどうかや、大企業かどうかだけで企業選びをせず、じっくりと業界研究や企業研究を行い、自分に適した企業探しをしていくことが重要だと思います。

就職活動Q&A

7月	
<学期末定期試験>	
7月	インターンシップ事前学習
8月～9月	インターンシップ実施期間
9月中旬	企業からのフィードバック
9月下旬	体験者報告会
数)	
イダンス	
実施 (SPI2・一般常識)	
SPI(筆記) 模擬試験解説会	
12月	
就職ガイダンス 一対策>	第7回就職ガイダンス <面接対策>
問活用講座	
リーシート対策講座	面接対策講座
合同公務員説明会	
SPI(筆記) 試験対策ガイダンス	
SPI(筆記) 模擬試験実施 (SPI2・一般常識)	
SPI(筆記) 模擬試験解説会	
研究セミナー	
3月	
<卒業式>	
面接対策講座	
模擬面接実施期間	

Q 本学卒業生の就職先(業界)にはどのような特徴がありますか?

A 学部学科で極端な片寄りはなく、各業界に満遍なく進んでいますが、割合としては、金融業界・マスコミ・サービス業への就職が多くなっています。

Q 就職活動準備はいつから(何年生のいつ頃から)始めればいいのでしょうか?

A 「いつから始めなければ間に合わない」ということはありませんが、できる限り早く取り組みをスタートさせることが重要だと思います。キャリア支援部では、就職活動のためのセミナーやガイダンスを3年生の前期から展開しています。詳しくは左表の3年生対象「就職サポートプログラム」～就職活動の流れを確認しよう～で確認してください。

Q 1、2年生の段階でなにかやっておいた方がいいことはありますか?

A 就職を意識して特別に何かをやっておくというよりは、学生時代にしか出来ないこと(部活動やボランティアなど熱中できること)に一生懸命取り組むことが大切です。就職活動において、自分を売り込んでいくこと＝自己PRは、学生時代の経験がものをいいます。時間が多くとりやすい学生時代だからこそ、熱心に物事に取り組み、そこから多くのことを学び経験しましょう。

Q 地方出身で、Uターン就職を考えていますが、どのように情報収集をすればいいのでしょうか?

A 東京にいながらも地方企業の求人を探すことは可能です。都道府県別の就職情報誌、学生職業センター、各都道府県東京事務所での情報収集、地元新聞求人情報、地元商工会議所の利用などを積極的に活用すると共に、それぞれの地方企業合同説明会等を利用することをお勧めします。また、キャリア支援部資料室でも資料を取り扱っています。

Q 公務員と民間企業の両立について

A 公務員試験対策と就職活動の両立は時間的に非常に厳しいことは確かですが、可能です。ただし、自分がどちらに比重を置いて活動していくのか、自分なりの軸やルールを設けて、効率的に進めることが大切です。うまく両立するためには、「スケジュール管理」や「自己管理」が鍵になってくるでしょう。最近では、秋以降の採用も増えていますので、公務員試験の結果が出てから就職活動をスタートするのも一つの方法です。

文化部連台 六月祭

文化部連台所属団体による「六月祭」がおこなわれ、各団体の公演や展示などが発表されました。

団体名	期日	内容	場所
レストロ・アルモニコ管弦楽団	5月30日	コンサート	五十周年記念講堂
ボランティア部	6月4日	献血会	中庭
E.S.S.	6月6日	英語劇	002教室
落語研究会	6月11日	公演	002教室
アメリカ民謡研究会・ギター部・軽音楽部	6月14日	合同ライブ	下北沢MOSAIC
華道部	6月14日～16日	展示	学生ホール
書道同好会	6月14日～25日	展示	学生ホール
茶道部	6月15日	茶会	学生フロア
写真部	6月19日～7月2日	展示	学生ホール
ギター部	6月22日～23日	ライブ	下北沢MOSAIC
美術部	6月22日～23日、25日	展示	学食棟地下ミーティングルーム
映画研究会	6月24日～25日	上映会	AVホール
演劇部	6月25日～26日	公演	002教室
合唱団	6月26日	演奏会	オリンピックセンター
ダンス部	6月27日	公演	新宿FACE
軽音楽部	6月28日	公演	下北沢MOSAIC

レストロ・アルモニコ管弦楽団



私達レストロ・アルモニコ管弦楽団は、5月30日に第33回メイフラワーコンサートを開催致しました。例年よりも少し早い開催となりましたが、多くの方々にご来場頂き心より感謝しております。今回はユーモアのあるプログラムで、メイン曲のドヴォルザーク交響曲第8番を始め、皆様にお楽しみ頂けたのではないかと思います。

次回の演奏会は12月5日に開催致します。団員一同お待ちしておりますので、ぜひお越し下さい。

ボランティア部



私たちボランティア部は6月4日に1号館前で献血会を行いました。この活動は日本赤十字社の職員の方と部員とが学内で積極的に呼びこみを行い、多くの学生に献血を協力していただきました。

昨年は雨が降ってしまったのですが、今年は晴天に恵まれ、気持ちよく活動ができました。

秋にも献血会を行いますので、また多くの人に協力していただけたらと思います。今後もボランティア部をよろしく願います。

落語研究会



こんにちは。落語研究会です。我々落語研究会では、6月11日に002教室で六月祭を行いました。今回の演目は、落語四席、コント一席と大喜利でした。

お客様の数はさほど多くはありませんでした…。文化祭、更には12月の年忘れ公演の際には是非、足をお運び頂けますよう何卒よろしく願い申し上げます。

アメリカ民謡研究会



今回、六月祭という名目で、ギター部・軽音楽部・アメリカ民謡研究会合同で、下北沢のMOSAICで6月14日にライブを行いました。

各部活の代表2バンドと各部活で作った合同バンドで演奏を行いました。普段学生間の交流はあっても部活同士の付き合いはこのようなイベントのみなので、非常に盛り上がりました。

ライブは、洋楽・邦楽・アニソンと様々なジャンルで行われたので、普段聴かないような音楽を演奏することができ、勉強になりました。また、各団体の代表ということで、それぞれ非常にレベルの高い演奏が行われ、素晴らしいライブとなりました。

華道部



私たち華道部は、6月14～16日の3日間、3号館学生ホールにて華道の展示会を開催いたしました。今年度は書道部さんと合同で展示をさせていただきました。例年とは違った新しい雰囲気での展示をすることができました。また、展示した作品も、部員それぞれが工夫を凝らした作品が多く、皆様楽しんでいただけたかと思えます。今回の展示で少しでも興味を持っていただけたら、いつでも見学・体験をしているのでぜひいらしてください！お待ちしております。

書道同好会



私たち書道同好会は6月14日から25日までの期間で、作品の展示を行いました。今年度は最初の3日間、華道部さんと合同という形で展示しました。一味違う華やかな展示になったのではないかと思います。また書道同好会では11月の大学祭においても毎年、展示をしています。こちらにおいても今年は華道部さんとの共催を検討中です。今後は更に練習を繰り返し、質の高い作品を皆さんにお見せできるよう努力しますので、ぜひお越し下さい。

茶道部



私たち茶道部は6月15日に1号館学生フロアにて、六月祭茶会を行いました。お菓子は可愛い貝の形の落雁、茶碗は平たい物と涼しさを感じて頂けるよう準備をしました。今年度は時間を少し長めに取った事もあり、昼休み前後の静かな時に、お客様にゆっくりとお茶を楽しんで頂けたかと思えます。次回の茶会は学園祭茶会です。今年も成城池を予定しておりますので、お誘い合わせの上是非ご来席ください。

写真部



写真部では、6月19日から7月2日まで3号館学生ホールで展示会を行いました。テーマや作品形態などは自由で、今まで培った技術をもとに部員1人1人個性ある作品を作りあげ展示しました。ホールで立ち寄って見てくださった大勢の方には本当にありがたく思っています。今回の展示を見て興味を持った方がいたら、ぜひ部室へ見学に来てください。今後の展示会でもより良いものにするため頑張っていくので、よろしく願います。

ギター部



ギター部では6月14日に軽音楽部・アメリカ民謡研究会との合同祭、6月22、23日にギター部の六月祭を行いました。合同祭では普段なかなか聴くことができ、各部員にとってよい刺激になりました。また6月22、23日の六月祭では一年生初めてのライブとなり緊張している子どもたちも多く見られましたが、ギター部特有の盛り上がりで、各々が楽しんで演奏していたようでも良い二日間でした。ギター部の次のイベントは8月10日に下北沢MOSAICで中央大学との合同ライブがあります。

美術部



私たち美術部は6月22、23、25日の間、学内で展示会を行いました。今年は「文字」をテーマにした一風変わった内装で、お越し頂いた方々にも楽しんでいただけたのではないかと思います。1~3年生が作品を作成し、特に1年生にとっては初めての展示でしたが、皆個性あふれる作品を多数出品してくれました。今後も学内、学外を問わず展示会の開催、参加をしていきたいと考えておりますので、興味のあるかたは是非遊びに来てみてください！

映画研究部



映画研究部は6月の24、25日の2日間をわたり、上映会T A K E 1をA Vホールをお借りして行いました。今回は部員が春休みに撮った作品に加え、部員が一丸となり企画から編集までを行ったオムニバス形式のコンペティションも開催し、たくさんのお客様…とまではいきませんでしたが、来ていただいたお客様にはきっと楽しんで頂けたと思います。これから秋の上映会、学際上映会のち、12月12日(日)には2010年を締めくくるに相応しい我が映研の一大イベント「T A K E ∞」も控えております。みなさま、今後も映画研究部のイベントにご期待ください。「T A K E ∞」の詳細はこちらからご覧ください。http://zero7.xxxxxxxx.jp/

演劇部



私たち演劇部は、6月25、26日に002教室で「シンデレラ・ストーリー」を上演しました。多くの新入部員を向かえることができ、厚みのある公演になりました。今回の公演は、部員が協力し合っていました。そして、新入生お披露目公演ということもあり、特に1年生の頑張りや、熱意には驚かされるばかりでした。ご来場してくださった方々本当にありがとうございました。今後の演劇部の活動も、部員一同頑張っています。是非ご覧ください。お待ちしております。

合唱団



私たち合唱団は6月26日(土)に、参宮橋：オリンピックセンターにて、成蹊大学、武蔵大学との三大学合同の「虹の会」の演奏会を行いました。当日は梅雨の暑い中、たくさんの方々にご来場いただきました。成城の方にもたくさん来ていただきありがとうございました。今後は11月27日(土)に五十周年記念講堂にて第52回定期演奏会を行います。素敵なプログラムで皆様をお待ちしておりますので是非ご来場下さい。

ダンス部



ダンス部は、6月27日に新宿のfaceにて6月公演「zenith June performance」をやりました。500人あまりのお客様に来て頂き、会場の盛り上がりも例年以上で、公演は大成功に終わりました！また来年もよろしく願います。

軽音楽部



軽音楽部は6月28日に下北沢のMOSAICというライブハウスでライブを行いました。出演者75名のとても大きなライブでバンド数は14バンドでした。一年生が入部してから初めてのライブということもありかなり新鮮な雰囲気でした。初心者で入部した子もみんな驚くほど上達していて2・3年生にとってもいい刺激になりました。Rock,R&B,Pops,Soul,Funkなど色々なジャンルを演奏しているので是非とも遊びに来てください。



多読を利用した英語学習のすすめ

めーあ・りひと



文芸学部准教授 井上 徹 (いのうえ とおる)

明治時代から実用的な英語力を身につけるために英語の本をたくさん読むことが効果的であると言われてきました。福澤諭吉、夏目漱石、新渡戸稲造といった英語の達人たちも大量の洋書を読んで英語力をつけたとされています。英語の本を辞書を引かずに、わからないところを飛ばしてたくさん読むことを「多読」と言います。多読の効用は従来も認められてきましたが、辞書を引かずにある程度の洋書を読める上級レベルの学習者にだけ可能な学習法であると、長い間信じられてきました。

この敷居の高い多読法を、やさしい絵本のレベルから始める、段階的にレベルをあげていく、さまざまなジャンルの本を大量に使う、というように改良したSSS (Start with Simple Stories) 方式の段階的多読法の成果が今世紀になって指摘されるようになりました。5年前に前任校で多読指導を始めた私が採用したのが、①辞書は引かない、②わからないところは飛ばす、③進まなくなったら後回しにする、という三原則をかかげるSSS方式の多読学習法です。たくさんの面白い本の中から自分のレベルにあった本を自分で選び、自分のペースで本を読むところが、従来の英語学習法との大きな違いです。

辞書を引かないで英語の本を日本語に訳さず読むとなると、最初は非常にやさしい絵本から始めることとなります。幼児や児童ならまだしも、高校生や大学生に絵本を読ませることに抵抗のある方もいるかもしれません。しかし、絵本の持つ力や挿絵の助けを過小評価すべきではありません。絵本にもいろいろなものがあり、段階をあげて大量の読書をするので、英米の3~5才児が読む絵本をずっと読めといっているわけではありません。たっぷりと助走をつけて絵本で読書に慣れたあとは、少しずつ段階をあげていき、イラストが少ない絵本に移行し、やがて活字だけの本を読むようにします。また、絵本とはいえ、いつも知らない単語が出てこないという保証はありません。絵や話の前後関係から推測できる場合もあれば、そうでない場合もあります。(実際、多読教材にはいろいろな「仕掛け」があり、英語の基本語彙のコア・イメージが自然につかめるようになっていきます。) 読んでいて知らない単語ばかり出てきてストーリーが追えなくなったら我慢しないで他の本に移ってもよい、というのが最近の多読法の骨子です。このような多読を成功させるためには読む絶対量を多くし、学習者に自分で読む本を選ばせることが重要です。内容がバラエティーに富んでいて面白く、大量の多読教材が必要なことは言うまでもありません。

どのくらい読むのかというと、100万語を目標にしています。100万語というと途方もない数字に思えるかもしれませんが、中1~高3までの6年間の学校の英語教科書の総語数が3万語程度ですから、100万語はその30倍以上の語数となります。しかし、この数はそんなに途方もない数ではなく、中学2年生以上のレベルの英語力があって適切な指導を受けられれば、多くの人が100万語以上の英語の読書ができるようになります。

分速100語(比較的ゆっくりした速度)で読書した場合、100万語読破には167時間程度かかると言われていますが、1日30分ずつやれば333日で100万語を読めることとなります。1日1時間の読書なら、半年で100万語多読を達成します。このように考えると、十分達成可能なことだとわかるでしょう。100万語多読へと導いてくれるのが多読の源泉である「物語の力」です。一冊一冊が完成した世界を作っていて、物語の面白さが読者をどんどん引っばって行ってくれます。日本語の本をほとんど読まない人でさえ、英語でたくさん本を読んでいます。

私の多読授業では、読みやすさレベル0(主要語彙200~300語、1冊あたりの総語数が1,000語までの本)から3(主要語彙1,000~1,700語、1冊あたりの総語数6,000~12,000語までの本)の本の読書を中心に行ってもらい、私は学生たちが実際に読んでいる様子を観察し、和訳しながら読んでいないか、文字をきちんと読んでいるかを確認し、レベルを上げるタイミングについて助言します。

私が多読を推薦するのは、日本の学校の教科書に出てこない英語圏の日常語が学べること、日本人の苦手な句動詞(動詞+前置詞・副詞)が自然に学べること、英語の発想に自然に慣れること、等々たくさん理由がありますが、最大の理由は読書の楽しみを知ってほしいからです。英語の学習は、長期にわたって楽しみながら続けられるものでなければいけません。大切なことは、英語を勉強するために読むのではなく、英語で物語の世界を楽しむことです。

第61回四大学運動競技大会 正式種目得点/一般種目出場者 速報

正式種目得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
アイスホッケー	日程未定			
アメリカンフットボール	1	4	2	3
駅伝 (男)	本戦：10月17日			
駅伝 (女)	本戦：10月17日			
弓道 (男)	1	3	4	2
弓道 (女)	4	3	2	1
剣道 (男)	本戦：10月16日			
剣道 (女)	本戦：10月16日			
硬式庭球 (男)	3	2	4	1
硬式庭球 (女)	3	4	2	1
硬式野球	日程未定			
ゴルフ	日程未定			
サッカー	4	2	1	3
自動車	日程未定			
柔道	本戦：10月17日			
水泳	日程未定			
水球	日程未定			
スキー (男)	1	4	2	3
スキー (女)	3	4	2	1
漕艇	2	1.5	1	1
卓球 (男)	本戦：10月15～16日			
馬術	日程未定			
バスケットボール (男)	未定			
バスケットボール (女)	1	4	3	2
バドミントン (男)	本戦：10月15～16日			
バドミントン (女)	本戦：10月15～16日			
バレーボール (男)	日程未定			
バレーボール (女)	2	4	1	3
ハンドボール	日程未定			
ホッケー (男)	1.5	2	1	1
ホッケー (女)	日程未定			
洋弓 (男)	本戦：10月15～16日			
洋弓 (女)	本戦：10月15～16日			
ヨット	8月14、15日			
ラクロス (男)	日程未定			
ラクロス (女)	日程未定			
ラグビー	3	2	4	1
陸上競技	9月20日			
点数合計 (7月1日現在)	29.5	39.5	29	23

一般種目出場者

	順位	チーム名
硬式テニス (男) D	1位	WAX
	2位	K.T.J.N
	3位	シンタ
硬式テニス (女) D	1位	McS
	2位	おんたま
	3位	鳩山さんの私服 (笑)
硬式テニス (混) D	1位	チーム孫堅
	2位	リア充潰し
サッカー	1位	Z.e.M A
	2位	ONZE B
ソフトボール (男)	1位	MIX BONDS A
	2位	男子ラクロス部
	3位	厚生ブルーベリーズ
ソフトボール (女)	1位	MIX BONDS
卓球 (男) S	1位	8月30、31日決戦
	2位	8月30、31日決戦
卓球 (男) D	1位	8月30、31日決戦
	2位	8月30、31日決戦
卓球 (女) S	1位	8月30、31日決戦
卓球 (女) D	1位	8月30、31日決戦
卓球 (混) D	1位	8月30、31日決戦
	2位	8月30、31日決戦
軟式テニス (男) D	1位	チーム真岡
	2位	チームS.U.B.C
軟式テニス (女) D	1位	ISM
	2位	未定
軟式テニス (混) D	1位	チームAKB
	2位	K.K.
軟式野球	1位	成城ドジャースA
	2位	成城ドジャースB
バスケットボール (男)	1位	8月30、31日決戦
	2位	8月30、31日決戦
	3位	8月30、31日決戦
バスケットボール (女)	1位	8月30、31日決戦
バドミントン (男)	1位	8月30、31日決戦
	2位	8月30、31日決戦
バドミントン (女)	1位	8月30、31日決戦
バレーボール (男)	1位	8月30、31日決戦
	2位	8月30、31日決戦
	3位	8月30、31日決戦
バレーボール (女)	1位	8月30、31日決戦
	2位	8月30、31日決戦
女子フットサル	1位	レットルズ



第61回四大学運動競技大会一般種目屋外競技 学内予選開催される! 2010年6月20日(日)

6月20日(日) 成城学園伊勢原総合グラウンドにおいて、体育部連合会四大戦推進局主催による第61回四大学運動競技大会一般種目屋外競技の集中予選がおこなわれました。今大会では、軟式野球：6チーム、サッカー：12チーム、ソフトボール男子：9チーム、ソフトボール女子：2チーム、硬式庭球男子：9チーム、硬式庭球女子：3チーム、硬式庭球混合：9チーム、軟式庭球男子：4チーム、軟式庭球女子：1チーム、軟式庭球混合：2チーム、女子フットサル：5チームのエントリーがあり、本戦出場を賭けて熱戦を繰り広げていました。(軟式庭球は天候不順によりコート状態悪のため別日に実施)

なお、屋内競技予選については8月30日、31日に成城大学体育館で開催される予定です。



初戦勝利をもぎ取った瞬間



一球入魂! 果たしてボールの行方は…



狙え! サービスエース!



運営学生は大忙し…
お疲れ様でした



狙い澄まして渾身の一振り



南アフリカ大会を彷彿とさせる
ナイスセービング



優勝できてホッとしています…

四大戦一般種目屋外競技 本戦出場チーム紹介

1位通過団体のみ

サッカー Z.e.M A



3年連続学内優勝、本戦出場を決めることができました。私たちゼムは先輩後輩関係なく切磋琢磨しあって練習を楽しんでいます。今年こそはチーム一つとなって優勝を勝ち取ります!!応援よろしくお願いします(≧ω≦)b

軟式野球 成城ドジャースA



こんにちは!軟式野球サークルの成城ドジャースです。我々は四大戦優勝という目標を掲げ、日々練習に取り組んでいます。昨年の本戦では3位という結果に終わってしまいとても悔しい思いをしました。今年はスマイルベースボールで優勝します!応援よろしくお願いします。

ソフトボール男子 MIX BONDS A



こんにちは!MIX BONDSです!昨年の敗退からもうすぐ1年が経ちます。いまでもこの悔しさは忘れません。今年は新たに新メンバーも入り充実した戦力です。快速左腕・イチロー2世・茨城代表・凄腕キャプテンなど…今年こそ四大戦優勝目指します!!

ソフトボール女子 MIX BONDS



ども!!MIX BONDSです。私たち昨年は四大戦で準優勝したんです。初心者の子もいるんですけどみんなでわきあいあいやっています。今年のチームは新メンバーも入り、本当にチームワークがいいチームになりました。全員で優勝狙いにいきます。

硬式庭球男子 WAX



テニサーの成城アイドルフェローズとウィンクスに所属している1年生ペアです。まだ組んでから一度もダブルスの練習をしていませんが、ノリとテンションで乗り切って四大戦制覇を成し遂げられるよう頑張りたいと思います!

硬式庭球女子 McS



テニスサークルのひとつ、McSの3年です!最近サークルに可愛い新入生もたくさん入ってくれて、1・2年生の若いパワーに圧倒されつつも日々楽しく過ごしております(´▽`)/*。そろそろ歳なので体力的にもきついです。本戦も精一杯頑張りますので応援のほどよろしくお願いいたします!!

硬式庭球混合 チーム孫堅



成城大学テニスサークルMcSの28thしよこ・29thゆーすけです!McSはテニス好きな人達の集まりで、学年・男女・実力関係なく、皆が仲良しな最高のサークルです☆そんなこんなで出場したら優勝しちゃいました!(^_^)本戦でも大好きなテニスを楽しくできたらと思います!!よかったら応援してください!!

軟式庭球男子 チーム真岡



こんにちは。チーム真岡もおかです。私達は今回ISMの3年生と1年生という先輩、後輩の関係の中でコミュニケーションを十分に活かし予選を優勝することができました。本戦でも優勝します。ぜひ応援の方よろしくお願いします。

軟式庭球女子ダブルス ISM



成城で唯一の軟式テニスサークルISMに所属する1年4年ペアです。私たちは中学からずっと軟式テニスを続けています!そんな2人が4月に出会い、四大戦に向けてペアを組みました。ISMや自分たちのためにも、本戦で優勝を目指します。応援よろしくおねがいします☆

軟式庭球混合 チームAKB



こんにちは。ISM1年の荒井・北川です。私達はよくケンカをする中初出場ながら、ルーキーの力を発揮して予選を優勝することができました。本戦では優勝するためお互い大人になり、めんどくさいと言われないようにがんばります。応援よろしくお願いします。

女子フットサル レットルズ



私たちレットルズは、初心者ばかりですが、日々の練習で技術力、チーム力ともに向上し、去年に引き続き2年連続四大戦出場となりました!!!

四大戦、頑張るぞー★応援よろしくお願いします!

ライフセービング部

こんにちは。ライフセービング部です。

みなさんは、「ライフセービング部」と聞いてどのような部活動をイメージしますでしょうか？体育部連合会の部活動の一つですが、私たちの活動目的は試合の結果にはありません。ライフセーバーとしての海のパトロール活動にあります。夏休み、他の大学のライフセーバーと共同生活を送りながら、観光客が沢山集まる伊豆の海で監視活動に専念し、海の安全を守っています。ひと夏のパトロール活動を無事故で終わらせることが、私たちの活動目的であり、ライフセーバーとしての誇りなのです。

その為に、週2日水・金に大学トレーニングセンターのプールで練習をしていて、週末にはみんなで車に乗って海へ向かい、トレーニングをしています。また、パトロールを行わない期間には、ライフセービングの大会に出場します。ビーチフラッグスという競技をよく耳にしたことがあると思いますが、これもライフセービングの競技の一つなのです。いかに迅速にレスキューに向かうことが出来るかを競う大会であり、レスキュー時に人を運ぶ為に使うボードや、チューブと呼ばれる浮輪のようなものなど、様々な機材を使いスピードを競います。それが海の安全にも繋がっていくのです。



海の安全は私たちが守ります！

現在、私たちは男子12名、女子6名、マネージャー1名の全19名で活動しています。一緒にいる時間が長い分、部員同士とても仲が良く、良い信頼関係で、明るく支えあいながら活動しています。

さて、今年も夏がやってきました！みなさんに海水浴を楽しんでもらうために、モチベーション高く活動していきたいと思っています。

主将：下平亮輔（経3J）



下田の白浜で種目別選手権大会が開催されました



茶道部

「茶道って茶碗を3回まわすアレでしょ？」

皆さんの茶道の印象というとこのような所でしょうか。お茶を頂く際に確かに茶碗をまわしますが、作法はそれだけではありません。その一つに、会釈と共に茶碗を上げ下げする「おしただく」というものがあります。それが意味するものは「感謝」の気持ちです。お茶を点ててくれた亭主は勿論、裏方の人々、道具の職人等、目の前の一杯のお茶に関わった全ての人や物に感謝する心が、この一つの動作には含まれているのだと思います。そしてそれは日常生活においても同じ事が言えると思います。私たちはそんな感謝の気持ちを茶道から学び、実践に映せるよう日々稽古を重ねています。



私たちの稽古の成果をぜひご覧になってください

今年の4月、学生部、大学祭実行委員会、そして地域の方々のご協力のもと、成城商店街での桜フェスティバルにおいて、2日間で1000人以上の方に茶道を体験して頂くことができました。お茶を点てる忙しさの中でも私たちが心に思い浮かべていたのは、「お客様に美味しいお茶を楽しんで欲しい」、ただその気持ちだけでした。

11月には学園祭茶会を、12月には学習院女子大学との合同定例茶会を予定しています。どんな場面であっても、感謝の心を忘れずに、常に相手を第一に考えたおもてなしができるよう技術と心を磨いていきたいと考えています。

部長：伊東明彦（文3E）



毎年、文化祭のときには成城池のほとりて茶会を開いています

平成22年度 成城大学特待生について

平成22年度本学特待生として、本学学部2年生以上に在籍している学生を対象に、人物・学業ともに優秀な者を選出し、下記のとおり決定しました。

6月24日（木）に大学2号館会議室において表彰式が開催され、各学部長、教務部長、入試広報部長、学生部長ならびに大学事務局長出席のもと、油井学長より特待生に対し表彰状が授与されました。

～平成22年度特待生～

経済学部		文芸学部		法学部		社会イノベーション学部	
2年B組	新井 将智	2年A組	金子 早穂子	2年G組	内田 有紀	2年B組	嶋田 愛梨
2年I組	石神 直人	2年D組	上田 千華	2年H組	柳 邑泉	2年J組	山中 泉
2年N組	石田 明日香	2年E組	原 雅喜	3年E組	長嶋 恭平	3年A組	森下 奈津美
3年D組	時任 隼成	3年B組	鹿島 美香	3年E組	浜中 愛美	3年F組	増田 知穂
3年B組	名取 隆史	3年D組	佐藤 結	4年A組	伊藤 優香子	4年A組	松島 綾子
3年H組	藤倉 かおり	3年F組	松尾 百恵	4年E組	対馬 紗彩	4年J組	村上 耕大
3年I組	山崎 智樹	4年A組	矢吹 茂樹				
4年E組	吉野 里佳	4年C組	室川 彩子				
4年L組	西川 薫子	4年E組	中西 明日香				



表彰式後に記念撮影



～特待生のコメント～

3年連続特待生となった2名の方にコメントをいただきました。

この度は、3年間連続で特待生に選出いただきありがとうございます。私自身の地道な日々の積み重ねが、このように評価して頂けたことに大変嬉しい気持ちでいっぱいです。また、このような賞を頂けたのも決して私の力だけではなく、私を指導してくださった先生方をはじめ、両親、友人と周りの方々の温かい支えがあったからだと思っています。特に両親には、1人暮らしをさせてもらい、いろいろ心配や負担をかけたと思いますが、3年間この賞を頂けたことで少しはいい親孝行が出来たのではないかと考えています。今後も、現状に満足することなく日々精進していきたいと思っています。この度は、本当にありがとうございます。

経済学部 経営学科4年
西川 薫子

この度は3年間連続で特待生に選出いただきまして、誠にありがとうございます。この学部には様々な観点から物事を考えることができる授業が数多くあり、興味のあることを幅広く学ぶことで、専門性の高い知識を身につけることが出来ました。これも少人数教育という特徴を生かした先生方のきめ細やかなご指導と友人たちの支えのおかげで、今までこつこつと努力し続けることができたと思っています。「継続は力なり」ということを改めて強く実感した学生生活でした。社会に出てからもこの大学で学んだ多角的な視野と継続力を活かして、様々なことに挑戦していきたいと思っています。

社会イノベーション学部 政策イノベーション学科4年
松島 綾子

川上宏奨学基金について

この奨学基金は、故川上宏教授（文芸学部マスコミュニケーション学科：平成6年逝去）のご遺志により、その寄付金を基に平成9年度から設立されたものです。給付対象は、文芸学部マスコミュニケーション学科及び大学院文学研究科コミュニケーション学専攻の在籍学生で、選考委員会の審議を経て、下記の3名の方が受給者に決定しました。

文学研究科コミュニケーション学専攻 博士課程後期1年 吉井 智晴
研究題目「理学療法士教育におけるコミュニケーション教育モデル構築」

文芸学部マスコミュニケーション学科4年 小沼 里佳
研究題目「同性愛者のライフモデルを探る」

文芸学部マスコミュニケーション学科4年 瀬戸 健史
研究題目「障がい者自立支援のやりがい」

なお、去る7月26日に給付式が行われ、ご遺族から本人に奨学金が給付されました。



第41回チャリティーショー「クローバーの集い」開催のお知らせ

成城大学応援団は毎年、秋に学習院大学・成蹊大学・武蔵大学の応援団と共に世界の子どもにワクチンを贈るためのチャリティーショー「クローバーの集い」を開催しています。「クローバーの集い」はチャリティーも然ることながら、四大学間の絆を深めることも一つの目的としています。この活動を通じて多くの方々に私たち応援団の日頃の活動の成果をご覧になって頂ければと思っております。

また、成城大学応援団リーダー部は3年ぶりに入部者があり活動を再開いたしました。当日は、リーダー部とチアリーダー部による演技を披露する予定です。皆様の来場を心よりお待ちしております。

日 時：平成22年10月10日（日）
場 所：学習院 創立百周年記念会館
（JR山手線「目白」駅下車、徒歩30秒）
開 場：13時30分
開 演：14時00分
終演予定：17時00分
チケット代：300円（当日券あり）



昨年度のチャリティーショー「クローバーの集い」の様子

問い合わせ：成城大学応援団 seijo_cheer_1988@yahoo.co.jp

新型インフルエンザの感染防止について

昨年度の新型インフルエンザの世界的流行については、記憶に新しいところですが、平成22年7月1日現在において、本学の学生に、数名の新型インフルエンザ発症者が確認されています。当該学生及び当該団体に対しては、自宅待機を指示するとともに、世田谷区保健所と連携し、感染拡大防止の措置を講じております。なお、現段階では、教育研究活動及び課外活動については、感染拡大の恐れが無いものと判断し平常通りとしております。

今のところ数名の罹患者のみで集団的流行には至ってはおりませんが、今後もウイルスの変異や季節によっては再び大流行することも予想されます。つきましては、学生諸君におかれましても、日頃から各人で健康管理に努め、感染防止に十分留意してください。

【感染防止について】

下記のことにご留意し、感染防止に努めてください。

- 体調管理に注意し、免疫力を高める様留意する。
- 外出にあたっては、なるべく人混みを避ける。
- 咳エチケット、手洗い、うがいの励行。
- 発熱等、新型インフルエンザの感染を疑わせる症状がある場合は、最寄りの医療機関を受診し、その指示を受けてください。

※新型インフルエンザもしくはその疑いがあると診断された場合には、必ず大学保健室に連絡してください。

【問い合わせ窓口・相談窓口】

保健室：03-3482-9085（直通）
学生課：03-3482-9081（直通）

夏季休暇期間中の合宿について《学生部》

～保証人（保護者）の皆様へ～

学期末定期試験が終わり夏季休暇に入ると、ゼミナール、文化部連合（29団体）、体育部連合会（35団体）、特別委員会（4団体）、特別機関（5団体）、執行部所属研究団体（9団体）、さらにサークルとして活動している団体等の学生が各地で合宿を行います。

各団体が、キャンパス内での学習および活動から学外へと環境を変え、計画的な合宿生活を送ることになりますが、教員や友人の人間性とふれあうこと、あるいは監督・コーチ、先輩等の指導のもとに、集団生活の中で知識や技術の向上をはかることを目的とする合宿活動は、協調性や忍耐力、責任感を養い、計り知れない多くの成果が期待されます。これらの活動に対し、本学は全面的に支援し、それぞれの合宿が無事に行われるよう、以下のような指導体制で臨んでいます。

本学の課外活動は顧問制

本学公認の課外活動団体はすべて顧問制をとり、顧問の指導・助言のもと、都合のつく限り顧問が同行して合宿を実施しています。

合宿届の提出

合宿に際しては、原則として7月28日までにゼミナールは指導教員の、各クラブは顧問教員の承認を得て、学生部に合宿届（参加者氏名・合宿期日・場所等を明記）を提出します（体育部連合会所属団体は体連顧問にも提出）。また、文・体連、各学部部会の組織に属さない、いわゆるサークルの合宿についても、学生部に合宿届を提出させています。これらの団体にも、公認団体と同様、学生部において必要な指導・助言を行っています。

保証人同意書の提出

合宿には、原則として顧問が都合のつく限り同行することになっていますが、同行のない場合、または必要と思われる各部については、保証人（保護者）の同意書をいただいたうえで合宿を許可しています。これは、保証人（保護者）の方々に、ご子息・ご子女の活動について明確にご承知おきいただくためのものです。

合宿前ガイダンスの実施

夏季合宿の無事遂行の為に、毎年合宿実施前にガイダンスを実施しています。本年度も7月23日に学生部長、文・体連顧問、保健担当厚生補導委員、各団体の学生責任者が一堂に会し、合宿時の注意や伝達などを以下のとおり行いました。

◎合宿時の健康管理

- ・熱中症の予防と応急処置／怪我の応急処置／緊急を要する怪我等の対応等…資料配付および説明
- ・救急薬品について…各団体で学生部に申し込めば、応急処置のできる救急バックを無料で貸し出します。
- *全学生が受検する年1回の健康診断の他に、夏季合宿前に健康診断（心電図、血圧、検尿、医師による問診など）を体連各部員およびその他必要のある部員を対象に実施しております。

◎万一事故等の緊急事態が発生した場合：不測の事故等が発生した場合は、責任者が学生部に連絡をとる。

なお、本学では、全学生を対象にして「学生教育研究災害傷害保険」に加入しておりますので、手続きに漏れないよう学生部と緊密な連絡をとるよう指導しています。

◎合宿終了の連絡：合宿が終了した時点で、責任者が必ず学生部に報告する。

学生部：03-3482-9081 / 学園正門案内所：03-3482-1452（時間外）

以上のような体制のもとで指導・助言を行っておりますが、保証人（保護者）の皆様も、お気づきの点、ご希望、ご不明な点等がございましたら、学生部に遠慮なくご連絡いただければ幸いです。学生部といたしましては、各団体が無事に合宿の目的を達成できるよう、心から願っております。



～・2010年度「成城 学びの森」開催のお知らせ～

成城大学では、「成城 学びの森」の名称で、生涯学習支援事業を行っています。これは、地域一般の方々への社会貢献として展開しております。保護者の皆様にも、是非、成城で学ぶ楽しさを味わっていただきたく、以下のとおりご案内申し上げます。また、コミュニティー・カレッジは、本学学生の受講希望者については各講座3名まで、いくつかの条件のもとで受講料が無料になる制度があります。いずれも詳しくは、事務局までお問い合わせください。

◎コミュニティー・カレッジ秋冬講座（日程・内容一覧）

■申込期間 2010年 9月 6日（月）～ 9月24日（金）
 ■開講期間 2010年10月 1日（金）～12月15日（水）

01) MODERN DAY MYTHS AND MANTRAS 講師：Genevieve Tran 月曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/4 ②10/11 ③10/18 ④10/25 ⑤11/8 ⑥11/15	11) 越境する翻訳語 講師：陳 力衛 木曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/7 ②10/14 ③10/28 ④11/11 ⑤11/25 ⑥12/9
02) 思い出を語り・残し・整理する 講師：野島 久雄 月曜（18:30～19:50）受講料：9,000円 ①10/11 ②10/18 ③10/25 ④11/15 ⑤11/22	12) 白洲正子と日本の歴史 講師：青柳 恵介 木曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/14 ②10/21 ③11/11 ④11/18 ⑤12/2 ⑥12/9
03) 芸術学への招待ー近現代芸術の諸相ー 講師：木村 建哉 月曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/18 ②10/25 ③11/8 ④11/15 ⑤11/29 ⑥12/6	13) 華麗なるハプスブルク帝国の麗しきプリンセスたち 講師：富山 典彦 金曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/1 ②10/15 ③10/29 ④11/12 ⑤11/26 ⑥12/3
04) 古典文学サロン：伊勢物語ー在五中将日記ー 講師：上野 英二 月曜（18:30～19:50）受講料：9,000円 ①10/18 ②10/25 ③11/8 ④11/15 ⑤11/22	14) 日本語のゆくえーデジタル時代の日本語を考えるー 講師：三門 準 金曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/8 ②10/22 ③11/5 ④11/12 ⑤12/3 ⑥12/10
05) 夢を形にービジネス&イベント・プロデューサー 講師：境 新一 火曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/5 ②10/12 ③10/19 ④11/16 ⑤11/30 ⑥12/7	15) アメリカ企業発展史ータバコとビール業界における巨大企業の攻防ー 講師：山口 一臣 金曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①11/5 ②11/12 ③11/19 ④11/26 ⑤12/3 ⑥12/10
06) MADE IN JAPANの仏像 講師：岩佐 光晴 火曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/5 ②10/12 ③10/19 ④10/26 ⑤11/9 ⑥11/16	16) 絵解き『山海経』ー怪異鳥の世界ー 講師：枋尾 武 土曜（13:00～14:20）受講料：10,800円 ①10/2 ②10/16 ③10/30 ④11/6 ⑤11/20 ⑥12/4
07) 古典の名筆でくずし字を学ぶ 講師：小島 孝之 水曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/6 ②10/13 ③10/20 ④11/10 ⑤11/17 ⑥11/24	17) 速・多・秀ービジネスに創造的発想を！ー 講師：神田 範明 土曜（13:00～14:20/14:40～16:00）受講料：10,800円 ①②10/9 ③④10/16 ⑤⑥11/6
08) 学ぶことによって人生の階段を上手に歩む 講師：矢澤 修次郎 水曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 ①10/13 ②10/20 ③11/10 ④11/17 ⑤12/1 ⑥12/8	18) 最近のお魚事情を探る 講師：村井 衛 土曜（10:40～12:00）受講料：10,800円 ①10/16 ②10/23 ③11/6 ④11/20 ⑤12/4 ⑥12/11
09) 西洋美術展への招待ー美術館へgo!ー 講師：野田 由美恵 水曜（18:30～19:50）受講料：10,800円 講義 ①10/20 ③11/17 ⑤12/8 美術館見学 ②10/27 ④11/24 ⑥12/15	19) 現代の証券市場ー主体の変容と規制のあり方ー 講師：福光 寛 土曜（10:40～12:00）受講料：7,200円 ①10/16 ②10/23 ③10/30 ④11/6
10) 増上寺周辺を歩く 講師：吉原 健一郎/中村 洋子/小沢 詠美子 講義：水曜（18:30～19:50） 巡見：土曜（11/27）午後 受講料：7,200円 ①11/10 ②11/17 ③11/24 ④11/27	20) ジャン・ギャバンの魅力ー大スターとたどるフランス映画ー 講師：小河原 あや 土曜（10:40～12:00/13:00～14:20） 受講料：10,800円 ①10/30 ②11/6 ③11/20 ④11/27 ⑤12/4 ⑥12/11

◎オープン・カレッジ 映画の街、成城 黒澤明を語る

聴講無料・事前予約制

今年度の「成城 学びの森」オープン・カレッジは、「映画の街、成城 黒澤明を語る」という統一テーマのもと、映画の街、成城に縁のある方を講演者にお招きし、今年、生誕百年となる故黒澤明監督について語る講演会を以下のとおり開催いたします。地域に対してより一層、大学を開放するとともに、内容を充実させてまいります。

学生諸君および保護者のみなさまのご参加を歓迎いたします。

第1回 10月 9日（土） 黒澤 和子 氏：映画衣装デザイナー

第2回 10月23日（土） 山田 洋次 氏：映画監督

第3回 11月13日（土） 野上 照代 氏：元黒澤組スタッフ

第4回 12月 5日（日） 大林 宣彦 氏：映画作家

●時 間：午後1時30分～3時30分

●会 場：成城大学3号館地下1階003教室

（第3回のみ、成城大学7号館4階007教室となります。）

●定 員：第1回、第2回、第4回 450名 第3回 380名

※各講演の演題など詳細は、8月下旬に成城大学オフィシャルサイトに掲載いたします。

→『成城 学びの森[成城大学生涯学習支援事業]』または『生涯学習』→「オープン・カレッジ」

■お申し込みにあたって

オープン・カレッジ（聴講無料）は、事前予約が必要となります。事前予約申込受付は、それぞれの回ごとに受付期間を設けており、定員を超えた場合は、抽選とさせていただきます。**参加の確定については参加証（入場券）の発送をもってかえさせていただきます。**開催日の1週間前までに、お送りいたしますので、当日ご持参ください。

～・お申し込み方法～

ファックス・メール・ハガキ（申込受付期間消印有効）いずれかの方法で以下必要事項を明記の上お申し込みください。

※上記方法以外のお申し込みは、お受けできませんのでご注意ください。

【必要事項】 ・お申し込みの回、開催日
・参加希望者氏名（4名まで一緒に申し込むことができます）
・住 所（連名で申し込む場合は、全員分）
・電話番号（同上）

【申込受付期間】…それぞれの回ごとに受付開始日が異なります。

第1回… 9月14日（火）～ 9月24日（金）

第2回…10月 4日（月）～10月14日（木）

第3回…10月25日（月）～11月 4日（木）

第4回…11月15日（月）～11月25日（木）

※申込受付開始日、午前8時30分以前のお申し込みはお受けできませんのでご注意ください。

【パンフレット請求・問い合わせ先・申込先】

成城大学「成城 学びの森」事務局（大学2号館2階 企画調整室）

〒157-8511 世田谷区成城6-1-20

TEL 03-3482-9031 FAX 03-3482-9467 URL <http://www.seijo.ac.jp> E-mail manabi@seijo.ac.jp



Campus Seijo Information

夏季休暇期間中の事務取り扱い日時

7月

24	25	26	27	28	29	30	31
土	日	月	火	水	木	金	土

8月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木

各 部 署	教務部	教務課 学務課	平日 8:30-16:30 土曜 8:30-13:00	9:00-16:00	夏季一斉休業 8月1日～9月4日までの土曜日も夏季休業	9:00-16:00
	キャリア支援部					
	国際交流室					
	企画調整室					
	学生部	学生課 大学保健室 学生相談室	平日10:00-17:00/土曜10:00-13:00 13:00-14:00は閉室	10:00-16:00 13:00-14:00は閉室		10:00-16:00 13:00-14:00は閉室
各 学 部	経済学部	研究事務室	平日 8:30-16:30 土曜 8:30-13:00	9:00-16:00		9:00-16:00
	文芸学部	共用研究室	平日8:30-18:00 土曜8:30-13:00	平日8:30-16:30 土曜8:30-13:00	9:00-16:00	9:00-16:00
	法学部	資料室	月火木金9:00-19:00 水曜9:00-20:00/土曜8:30-15:00		9:00-18:00 12:00-13:00は閉室 ※8/4、5は臨時閉室	9:00-18:00 12:00-13:00は閉室
	社会イノベーション学部	研究事務室	平日 8:30-16:30 土曜 8:30-13:00		9:00-16:00	9:00-16:00
		学生共同研究室	平日9:00-16:00/土曜:閉室			
サ ー ビ ス 施 設	共通教育研究センター		平日 8:30-16:30 土曜 8:30-13:00		9:00-16:00	9:00-16:00
	民俗学研究所	閲覧室	平日 9:00-16:30 土曜 9:00-12:30		9:00-16:00 12:30-13:30は閉室	9:00-16:00 12:30-13:30は閉室
	トレーニングセンター		10:00-18:00 受付は17:00まで 利用は17:30まで		10:00-18:00 受付は17:00まで 利用は17:30まで	10:00-18:00 受付は17:00まで 利用は17:30まで
サ ー ビ ス 施 設	メディアネットワークセンター	オープンルーム	平日 9:00-17:00 土曜 9:00-13:00		9:00-17:00	9:00-17:00
	図書館	(開館時間)	平日 9:00-20:00 土曜 9:00-16:00	平日 9:00-17:00 土曜 9:00-12:00	9:00-17:00	臨時閉館

図書館

7月28日(水)～9月23日(木祝)

開館時間	月～金	土	
	9:00～17:00	9:00～12:00	
利用時間	メインカウンター	10:00～17:00	9:00～12:00
	B3書庫等(出納時間)	10:00～16:30	9:00～11:30
	レファレンスカウンター	10:00～17:00	9:00～12:00
AVゾーン	10:00～16:30	9:00～11:50	
	受付終了 16:00	受付終了 11:20	

夏休み貸出図書返却期限日：10/1(金)

3号館雑誌室の開館時間について

開講期間中 平日 9:00～16:30 土曜 9:00～13:00
 夏季休暇中 平日 9:00～12:00・13:00～16:00
 (12:00～13:00は閉室)
 土曜 9:00～12:00

*8月16日(月)～9月11日(土)は、月・火のみの閉館となります。詳しくは図書館ホームページや掲示等をご覧ください。

学生相談室

- ★面接希望者は、事前に予約を入れた方が確実です。(03-3482-9086)
- ★夏季休暇中、医師による面接はありません。

平成22年度学年暦(後期)

- 9月 23日(木祝) 夏季休暇終了
- 24日(金) 後期授業開始
- 10月 11日(月祝) [体育の日] 授業実施
- 15日(金) 第61回四大学運動競技大会
- 16日(土) 会場：学習院大学
- 17日(日) *15・16日は休講(大学院除く)
- 11月 1日(月) 文化祭準備(休講)
- 2日(火) 学園文化祭一大学祭一
- 3日(水祝) / 一文化の日一
- 4日(木) 文化祭後片付け(休講)
- 23日(火祝) [勤労感謝の日] 授業実施
- 12月 23日(木祝) [天皇誕生日] 授業実施
- 24日(金) 祝日授業実施に伴う休講日
- 25日(土) 冬季休暇開始
- 1月 6日(木) 冬季休暇終了
- 7日(金) 授業開始
- 14日(金) 月曜日の振替授業を実施 後期授業終了
- 17日(月)～29日(土) 学年末定期試験
- 3月 23日(水) 卒業式



主な関係部署の電話番号

大 学 関 係	教務部	教務課	03-3482-9045
		学務課	03-3482-9054
	学生部	学生課	03-3482-9081
		学生相談室	03-3482-9086
		大学保健室	03-3482-9085
		トレーニングセンター	03-3482-5790
		キャリア支援部	03-3482-9063
		国際交流室	03-3482-9020
		企画調整室	03-3482-9031
		大学図書館メインカウンター	03-3482-9148
		メディアネットワークセンター	03-3482-2165
		管理課	03-3482-9239
		入試広報部	03-3482-9100
		経済学部研究事務室	03-3482-9403
		文芸学部共用研究室	03-3482-9412
学 園 関 係	法学部受付	03-3482-9644	
	社会イノベーション学部研究事務室	03-3482-9764	
	共通教育研究センター	03-3482-9556	
	会計課	03-3482-1302	
	管財課	03-3482-1409	
	学園正門案内所	03-3482-1452	
	伊勢原総合グラウンド	0463-93-0771	

SEIJO UNIVERSITY
成城大学
経済学部・文芸学部・法学部・社会イノベーション学部
オープンキャンパス 2010

6月20日(日) 7月31日(土)
8月21日(日) 8月22日(日)
10月3日(日) 11月3日(日)

各日とも 10:00 ~ 16:00
予約不要・入退場自由

成城大学 入試広報部
〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20 Tel.03-3482-9100 Mail.nyushi@seijo.ac.jp
URL: http://www.seijo.ac.jp 携帯サイト: http://seijo.djmp.jp/

ミニ講義/英語受験講座/各学部説明会/個別相談 他
詳細はHPの「入試情報」をクリック！
大学紹介ムービー・
スタッフブログはこちら

[http://seijo.cc-town.net/!](http://seijo.cc-town.net/)



編集後記

●本誌のこのコーナーは今となっては編集に関してのあとがきとはかけ離れ、単なる私のつれづれコーナーになってしまっているようだ。編集後記とは？雑誌・書籍などで、編集者が記すあとがきとある。あとがきとは？書物・論文などの終わりに書き添える文とある。単純に言葉の意味を辞書で紐解けばこのようで、内容についての縛りは特にない。ともすれば編集後記と名乗っててもいいのかな……。ただ、様々な編集後記を拝読すると、執筆者と編集者はたいてい異なる人物で、人様が書いた原稿を取り纏め一つの冊子に仕上げた暁に、その際感じたことや思いを書き添えているようだ。

今号の黎明のコーナーで成城の学生諸君へ是非メッセージをお願いしますと文芸学部准教授の井上徹先生にお願いをした。研究、教鞭等で大変お忙しい中、数日の締め切り期限にも関わらず快諾くださって大変感謝している次第だ。その文章を拝読し、引き込まれた。私とはかく活字が嫌いで、本を読まない。本は様々な情報を秘めていて当然読めばそれだけ己の知識及び考える材料となる。それは十分に理解しているのだがいざ読もうとすると気が進まない。従って自分の知識はすすめの涙ほどもない……。悲しいことなのでやっぱり本を読もうと思えば本屋へ向かうがムリムリ。せめて雑誌だけでも思いコンビニへ立ち寄るが写真の部分を目で飛ばし、飲料を購入して帰るだけ。では漫画でもと思い古本屋へ行くが内容の分かっている馴染みの画を目で飛ばすだけ。そんな折だった。①辞書は引かない②わからないところは飛ばす③進まなくなったら後回しにする という三原則、たくさんの面白い本の中から自分のレベルにあった本を自分で選び、自分のペースで本を読む。これが多読学習法らしい。特に②③は私にとってはうれしくなる原則だった。好きだから、興味があるから読む。好きになったから、興味をもったから読む。読むことが進まなければ、わかるところだけ、面白いところだけ見る。これでいいんだ……。いや、こうあるべきなんだと。本筋が間違っていた。学習でしる娯楽でしる知識が欲しくて読むのではなく、面白かったから、もっと知りたいと思ったから読む、見る。ここから始まるのだろう。と勝手に自分のことに置き変えて解釈した。執筆の依頼をして良かった。編集に際して感じたこと、一番心に残ったことを書いてみました。活字嫌いの自分に困ったことのある方、12頁必読です。(H.S)

～今号の表紙～

昨年度実施した学生実態調査の結果がまとまりました。学内各所に置いてありますので御自由にお持ち下さい。

(学生部)

学生生活 228号

発行日 平成22年8月1日
編集・発行 成城大学・学生部
〒157-8511 世田谷区成城6-1-20
編集責任者 村瀬 鋼
編集 中村睦久・福室米太郎・佐藤英之
印刷 株式会社 芳文社